

板金製造業の競争力強化をめざし  
レーザー加工機で戦略的事業提携

株式会社アマダ  
三菱電機株式会社

アマダ（代表取締役社長 岡本 満夫）と三菱電機（代表執行役社長 野間口 有）は、今後の拡大が見込まれるレーザー事業に関し、技術革新への対応と生産面での効率化に向けて事業提携していくことで合意した。国内板金製造業の競争力強化とグローバル市場へ向けた最先端のレーザー加工機の供給を目的とする提携で、国内市場だけでなく国際市場での競争力強化をめざす。レーザー加工機業界初の大型提携となる。

レーザー加工機の主要市場である国内板金加工業界は、その得意先となる自動車、電機大手が進める生産の海外シフトによって多品種少ロット生産の増加に加え、価格競争力、人材育成などの課題を抱えている。

また板金加工業界は、加工機の性能がその企業の技術水準に直結することが多く、競争力の維持には最先端技術をタイミングよく導入することが必要であり、こうした要求にそう高度なメカトロマシとシステムを提供していくことが求められている。

これに対しアマダは板金加工機械メーカーとして、コンピューター技術を駆使したハード、ソフト商品の提供、さらには機械稼働率向上による高生産性をめざすデジタル化工場を提案するなど、板金加工業の経営力強化に力を注いできた。

また、三菱電機は、レーザー発振器、NC（数値制御装置）、加工機（二次元・三次元）を自社技術で製品化、板金加工業界に数々の最先端技術を提供、生産性・収益性等の向上に貢献してきた。

一方、グローバル市場では、欧州を中心に板金加工機械関連メーカーの合従

連衡が進展し、各地域における競争はますます激しさを増している。アマダと三菱電機は技術革新による製品力強化や対応力向上にそれぞれ取り組んできたが、国内はもとよりこれら欧州競合メーカーとの競争に勝ち抜くためには、より一層の事業強化の必要に迫られていた。

このため、アマダと三菱電機は、アマダの板金加工分野における豊富なラインナップおよび卓越したソリューションと三菱電機のレーザ加工機に関する優れた技術力、製品群という両社の強みを最大限に発揮、世界市場における競争力強化を狙いとした戦略的事業提携に合意した。

戦略的事業提携として、レーザ加工機技術の向上、生産面でのシナジー効果の追求等を協議し実施していく。

その効果としてアマダは、製品ラインナップとより質の高い板金ソリューションの提供が可能になる。三菱電機は板金ソリューションに対応するレーザ加工機に関する技術力の向上と製品を強化する。尚、両社はそれぞれのブランド製品を販売し、グローバル市場において最大限の売上拡大を目指す。

今後は、板金加工トータルソリューションメーカーのアマダと総合電機メーカーである三菱電機の技術とノウハウを生かし、それぞれがレーザ技術革新による用途拡大にて板金加工分野での更なる競争力強化を図っていく。

以上